

親睦パーティの企画の補足事項

(A) 出し物について

①西本和子さん（44 年卒）の三味線弾き語りによる邦楽落語についての補足。

三味線を弾きながら、落語を語るのは大変難しく、古典落語で有名な演目の「松山鏡」は日本で 3 人位の方しか演じておられません。その内のお一人が西本さんの先生で、西本さんはその一番弟子になります。

今回、その先生の許可を得て、演じることになりました。

演目の「松山鏡」は、鏡のない小さな村で起こる物語で、味わい深く愉快なお話ですので、出席者に楽しんでいただけたと思います。

簡単なストーリーを封筒に入れ、事前に出席者には配布する予定です。

②バリトン歌手・谷篤さんの補足

輪番幹事では校歌斉唱の指揮を出来るものがおりませんでしたので、事務局にお願いしたところ、昭和 54 年卒のバリトン歌手・谷篤さんを紹介していただきました。

一昨年に大変素晴らしい歌唱力で Stand Alone(坂の上の雲 主題歌)を聴かせていただきましたので、事務局を通して、今年もお願いしたところ、快諾をいただきました。今年もその美しい歌声を聴かせていただきます。曲名は未定ですが 2 曲～3 曲を歌っていただく予定です。

(B) 席替えについての補足

席替えは「生まれ月」でグループ分けしました。星座だと嫌う方や自分の星座が分からない方がいるため、あえて生まれ月にしました。

出席者が主役になり、有意義な時間を過ごしていただけるように、各テーブル毎に輪番幹事1名が同席します。テーマを設けて、楽しいコミュニケーショントークが図れるように輪番幹事がリードします。後輩から先輩に質問、また先輩は後輩から刺激を受けるようなトーク&トークの場になることを期待しています。